

令和 4(2022)年度下都賀地区初任者研修会(授業研究)を開催いたしました。

令和 4 (2022)年 6 月 9 日 (木) 実施
下都賀教育事務所 学校支援課

1 研修の目的・内容等

(1) 目的

新規採用教員に対し、先輩が行う授業の参観や授業研究会等を通して、教科等の指導に関する研修や指導上の諸問題についての協議を行い、教員としての指導力と資質の向上を図るとともに、管内新規採用教員の相互交流を図る。

(2) 会場

- 小学校会場 小山市立間々田小学校
- 中学校会場 小山市立大谷中学校

(3) 内容

- 趣旨説明および諸連絡
 - ・「授業の見方と学習指導について」 下都賀教育事務所 学校支援課 担当
- 授業参観(教科)
- 授業研究会(班別研修)

2 本研修で確認したこと

(1) 学習指導

(「令和 4 (2022)年度 とちぎの若手教員 15 (いちご) 研修資料」 p 9
「令和 4 (2022)年度版 下都賀地区学校教育の重点」 p 6・p 9 より)

- 学習指導は、教師の生命ともいふべきものである。
- 授業をいかに行うかは、教師にとって最も重要な課題である。
- 児童生徒一人一人が自分のよさを生かして、主体的に課題を解決し、豊かに成長することができるよう、教師は常に創意工夫に努める。
- 教師が教え込むスタイルの授業ではなく、児童生徒の活動を重視し、児童生徒一人一人を主体とした授業の実践に努める。
- 実践を通して、生涯にわたって学び続ける児童生徒を育てていく。
- ねらいを明確にした分かる授業づくりのために、ねらいの提示の仕方を工夫し、ねらいを基にした振り返りの充実を図ることが大切である。
- 言語活動を取り入れる目的を明確にし、その充実を図る。
- 「学業指導」の充実
 - ・学びに向かう集団(学級)づくり
 - ・子どもが意欲的に取り組む授業づくり

3 本研修で学んだこと（研修者が記入した「研修の振り返り」より）

- ・ この時間にどんな力を身に付けさせたいのかを考え、丁寧な指導を心がけることが児童の学習意欲の向上や分かる授業につながると思いました。
- ・ 本時のねらいを達成するために、何をしたらよいかを考え、意図を持って活動内容を考えることが大切であることが分かりました。
- ・ 目的を持って言語活動を行うことの大切さを学びました。ただ友達と話し合わせるのではなく、何のために、どんなことを話し合っほしいのかを明確にしていきたいです。
- ・ ICTを取り入れたり、様々な資料を提示したりしながら本時の目標につなげる工夫は、ぜひ参考にしたいと思いました。
- ・ ねらいの示し方や振り返りの行い方、指示をする際に気を付ける点など、とても勉強になったので、明日からの自分の授業に取り入れていきたいです。
- ・ 温かな雰囲気でありながらメリハリのある授業が印象的でした。私もクラスづくりを工夫していきたいと思いました。
- ・ よい授業を行うためには、日頃の学級経営が大切であることが分かりました。
- ・ 分かる授業、楽しい授業を展開するために、日々子どもたちとの関わりを大切にしていきたいと思いました。
- ・ 子どもとの関わりで、できないことばかりに目が向いていましたが、その子が「どうして悩んでいるのか」「つまづいているのか」などを考え、一人一人の心に寄り添った支援を行っていくことが大切だと学びました。
- ・ 授業研究会や情報交換等を通し、自分の授業や教員としての在り方を見直すことができました。
- ・ 班別協議で先生方と悩みを共有し、解決に向けた様々な手立てを学ぶことができました。授業の流れや話し方等参考になることばかりだったので、実践できそうなことから少しずつやってみようと思います。明日からまたがんばれそうです。
- ・ 他の初任者の方々が取り組んでいることや悩みを聞くことができ、自分だけではないという安心感を持ちました。この一年間で、知識や経験を豊かにしていきたいと思いました。
- ・ 生徒への言葉かけ、机間指導の仕方、指示の出し方など、自分の意識一つで改善できることなので、明日から早速実践していきたいと思います。

